

凡例：
 SR2023：サステナビリティレポート2023 有価証券報告書：2022年9月期 有価証券報告書（提出日：2022年12月23日）
 DB2023：ESGデータブック2023 CG報告書：コーポレート・ガバナンス報告書（更新日：2022年12月22日）

文中のコーポレート・ガバナンス報告書の参照URLは、日本取引所グループ（JPX）が運営するサイトのURLになります。

番号	開示事項	掲載場所（SR2023、DB2023以外） 関連情報	SR2023、DB2023での掲載場所
共通スタンダード			
GRI2-一般開示事項 2021			
組織と報告実務			
2-1	組織の詳細	HP：会社情報＞会社概要 HP：会社情報＞国内&海外ネットワーク	—
2-2	組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体	有価証券報告書 ：P.5 事業の内容 ：P.8 関係会社の状況	SR2023 ：P.2 編集方針 DB2023（各データの集計範囲を記載）
2-3	報告期間、報告頻度、連絡先	—	SR2023 ：P.2 編集方針
2-4	情報の修正・訂正記述	該当なし	—
2-5	外部保証	—	DB2023 ：巻末 温室効果ガス排出量 検証報告書
活動と労働者			
2-6	活動、バリューチェーン、その他の取引関係	—	SR2023 ：P.18 CSR方針1 調達＞基本的な考え方＞ステークホルダーとの関係性＞長谷川香料グループのサプライヤー概況
2-7	従業員	有価証券報告書 ：P.9 従業員の状況 長谷川香料グループの価値創造ストーリー ：P.6 #04 価値創造の源泉 従業員数の重大な変動：なし	DB2023 ：P.15 雇用形態別・地域別従業員数
2-8	従業員以外の労働者	有価証券報告書 ：P.9 従業員の状況 長谷川香料グループの価値創造ストーリー ：P.6 #04 価値創造の源泉 重大な変動：なし	DB2023 ：P.15 雇用形態別・地域別従業員数
ガバナンス			
2-9	ガバナンス構造と構成	CG報告書 ：P.5 1. 機関構成・組織運営等に係る事項 有価証券報告書 ：P.38 コーポレート・ガバナンスの状況等	SR2023 ：P.10 長谷川香料グループのサステナビリティ推進体制＞ (2)サステナビリティ推進体制の整備 ：P.51 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【コーポレート・ガバナンス】＞推進体制・ガバナンス
2-10	最高ガバナンス機関における指名と選出	有価証券報告書 ：P.38 コーポレート・ガバナンスの概要 CG報告書 ：P.16 コーポレート・ガバナンス体制 コーポレート・ガバナンスに関する基本方針 ：P.7 取締役・監査役の指名等 ：P.9 独立社外取締役 ：P.12 社外役員の独立性判断基準	SR2023 ：P.52 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【コーポレート・ガバナンス】＞推進体制・ガバナンス＞取締役・監査役の多様性
2-11	最高ガバナンス機関の議長	CG報告書 ：P.5 1. 機関構成・組織運営等に係る事項 有価証券報告書 ：P.38 企業統治の体制の概要及び当該体制を採用する理由 ：P.43 役員状況 第61回定時株主総会招集ご通知 ：P.7 取締役候補者とした理由／候補者と当社との間の特別の利害関係について	—
2-12	インバクトのマネジメントの監督における最高ガバナンス機関の役割	有価証券報告書 ：P.40 内部統制システムの整備の状況 ：P.42 リスク管理体制の整備の状況 CG報告書 ：P.13 内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況 ：P.11 リスク管理体制の整備の状況	SR2023 ：P.10 長谷川香料グループのサステナビリティ推進体制＞ (2)サステナビリティ推進体制の整備 ：P.12 ステークホルダー・エンゲージメント ：P.61 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【リスクマネジメント】＞推進体制・ガバナンス
2-13	インバクトのマネジメントに関する責任の移譲	—	SR2023 ：P.10 長谷川香料グループのサステナビリティ推進体制＞ (2)サステナビリティ推進体制の整備 ：P.18 CSR方針1 調達＞推進体制・ガバナンス ：P.23 CSR方針2 環境＞推進体制・ガバナンス ：P.30 CSR方針3 人権労働＞推進体制・ガバナンス ：P.41 CSR方針4 品質安全＞推進体制・ガバナンス ：P.51 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【コーポレート・ガバナンス】＞推進体制・ガバナンス ：P.58 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【コンプライアンス】＞推進体制・ガバナンス ：P.61 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【リスクマネジメント】＞推進体制・ガバナンス ：P.68 CSR方針6 イノベーション＞推進体制・ガバナンス
2-14	サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	—	SR2023 ：P.2 編集方針 ：P.8 長谷川香料グループのサステナビリティ推進体制
2-15	利益相反	有価証券報告書 ：P.43 役員状況 ：P.55 株式の保有状況 ：P.95 関連当事者情報 CG報告書 ：P.5 取締役関係 ：P.7 監査役関係	—
2-16	重大な懸念事項の伝達	CG報告書 ：P.13 内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況	—
2-17	最高ガバナンス機関の集会的知見	コーポレート・ガバナンスに関する基本方針 ：P.6 取締役会の構成 ：P.10 取締役・監査役のトレーニング	—
2-18	最高ガバナンス機関のパフォーマンス評価	CG報告書 ：P.2 補充原則 4－11③：取締役会・監査役会の実効性確保のための前提条件	SR2023 ：P.11 長谷川香料グループのサステナビリティ推進体制＞ (3)KPIの策定 ：P.54 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【コーポレート・ガバナンス】＞推進体制・ガバナンス＞取締役会の実効性評価

番号	開示事項	掲載場所（SR2023、DB2023以外） 関連情報	SR2023、DB2023での掲載場所
2-19	報酬方針	有価証券報告書 ：P.52 役員の報酬等 CG報告書 ：P.8 取締役報酬関係	SR2023 ：P.53 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【コーポレート・ガバナンス】＞推進体制・ガバナンス＞役員の報酬
2-20	報酬の決定プロセス	有価証券報告書 ：P.38 報酬委員会 ：P.52 役員の報酬等 CG報告書 ：P.8 取締役報酬関係	SR2023 ：P.53 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【コーポレート・ガバナンス】＞推進体制・ガバナンス＞役員の報酬
2-21	年間報酬総額の比率	—	—
戦略、方針、実務慣行			
2-22	持続可能な発展に向けた戦略に関する声明	HP：サステナビリティ＞トップメッセージ	SR2023 ：P.3 トップメッセージ
2-23	方針声明	—	SR2023 ：P.5 長谷川香料グループの存在意義 ：P.15 長谷川香料企業行動規範 ：P.17 CSR方針1 調達＞基本的な考え方＞長谷川香料グループ調達方針 ：P.30 CSR方針3 人権労働＞基本的な考え方＞人権基本方針
2-24	方針声明の実践	—	SR2023 ：P.18 CSR方針1 調達＞推進体制・ガバナンス ：P.30 CSR方針3 人権労働＞推進体制・ガバナンス ：P.51 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【コーポレート・ガバナンス】＞推進体制・ガバナンス ：P.58 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【コンプライアンス】＞推進体制・ガバナンス ：P.61 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動＞【リスクマネジメント】＞推進体制・ガバナンス
2-25	マイナスのインパクトの是正プロセス	—	SR2023 ：P.30 CSR方針3 人権労働＞推進体制・ガバナンス
2-26	助言を求める制度および懸念を提起する制度	CG報告書 ：P.13 1. 内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況	SR2023 ：P.30 CSR方針3 人権労働＞推進体制・ガバナンス
2-27	法規制遵守	重大な法令違反：なし	DB2023 ：P.27コンプライアンス
2-28	会員資格を持つ団体	—	SR2023 ：P.13 賛同・参画している主な団体・イニシアティブ
ステークホルダー・エンゲージメント			
2-29	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ	—	SR2023 ：P.12 ステークホルダー・エンゲージメント
2-30	労働協約	—	DB2023：P.20 労使関係
GRI3:マテリアルな項目 2021			
マテリアルな項目に関する開示事項			
3-1	マテリアルな項目の決定プロセス	—	SR2023 ：P.8 長谷川香料グループのサステナビリティ推進体制＞ 〔1〕CSR方針の策定
3-2	マテリアルな項目のリスト	—	SR2023 ：P.9 長谷川香料グループのサステナビリティ推進体制＞ 〔1〕CSR方針の策定＞【CSR方針】
3-3	マテリアルな項目のマネジメント	—	SR2023 ：P.8 長谷川香料グループのサステナビリティ推進体制

番号	開示事項	掲載場所 (SR2023、DB2023以外) 関連情報	SR2023、DB2023での掲載場所
項目別スタンダード			
201:経済パフォーマンス 2016			
201-1	創出、分配した直接的経済価値	有価証券報告書 : P.59 経理の状況	—
201-2	気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	有価証券報告書 : P.12 事業等のリスク 長谷川香料グループの気候変動リスク分析	SR2023 : P.62 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動>【リスクマネジメント】> 推進体制・ガバナンス> 主要なリスクと主な取り組み
201-3	確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度	有価証券報告書 : P.83 退職給付関係	—
201-4	政府から受けた資金援助	政府から受けた資金援助: 該当なし	—
202:地域経済でのプレゼンス 2016			
202-1	地域最低賃金に対する標準的新入社員給与の比率 (男女別)	—	DB2023 : P.21 新入社員の給与
202-2	地域コミュニティから採用した上級管理職の割合	—	DB2023 : P.19 現地採用者の登用、地域コミュニティから採用した上級管理職の割合
203:間接的な経済的インパクト 2016			
203-1	インフラ投資および支援サービス	インフラ投資および支援サービス: 該当なし	—
203-2	著しい間接的な経済的インパクト	—	—
204:調達慣行 2016			
204-1	地元サプライヤーへの支出の割合	—	SR2023 : P.18 CSR方針1 調達> 基本的な考え方> ステークホルダーとの関係性> 長谷川香料グループのサプライヤー概況
205:腐敗防止 2016			
205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	実施なし	—
205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	「長谷川香料グループ贈収賄・腐敗防止に関する方針」を定め、全役員及び全従業員に周知徹底を図っております。	—
205-3	確定した腐敗事例と実施した措置	確定した腐敗事例: なし	—
206:反競争的行為 2016			
206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	事案なし	—
207:税金 2019			
207-1	税務へのアプローチ	—	SR2023 : P.57 CSR方針5 ガバナンス 公正な企業活動>【コンプライアンス】> 基本的な考え方> 税務方針の制定
207-2	税務ガバナンス、管理、およびリスクマネジメント	—	同上
207-3	税務に関連するステークホルダー・エンゲージメントおよび懸念への対処	税務政策 (税制) に関する提言活動へのアプローチ: 特になし	同上
207-4	国別の報告	—	—
301:原材料 2016			
301-1	使用原材料の重量または体積	使用した再生不能原材料、使用した再生可能原材料: 商取引上の機密情報を含むため非開示	DB2023 : P.2 事業活動における環境への影響: 2022年度
301-2	使用したリサイクル材料	商取引上の機密情報を含むため非開示	—
301-3	再生利用された製品と梱包材	商取引上の機密情報を含むため非開示	—
302:エネルギー 2016			
302-1	組織内のエネルギー消費量	暖房消費量、冷房消費量、蒸気消費量、販売した電力、販売した暖房、販売した冷房、販売した蒸気: なし	DB2023 : P.2 事業活動における環境への影響: 2022年度 : P.5 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (単体) : P.7 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (国内連結)
302-2	組織外のエネルギー消費量	—	—
302-3	エネルギー原単位	—	DB2023 : P.5 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (単体) : P.7 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (国内連結)
302-4	エネルギー消費量の削減	—	SR2023 : P.26 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> エネルギー使用 DB2023 : P.5 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (単体) : P.7 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (国内連結)
302-5	製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	情報が入手困難 (生産工程上、個別の計算が現状は困難)	—

番号	開示事項	掲載場所 (SR2023、DB2023以外) 関連情報	SR2023、DB2023での掲載場所
303:水と廃水 2018			
303-1	共有資源としての水との相互作用	—	SR2023 : P.27 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> 用水使用 : P.27 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> 排水処理 : P.29 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (4)環境目標と実績 DB2023 : P.2 事業活動における環境への影響: 2022年度 : P.9 大気汚染、水資源 (単体) : P.10 大気汚染、水資源 (国内連結)
303-2	排水に関連するインパクトのマネジメント	—	SR2023 : P.27 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> 排水処理 DB2023 : P.9 大気汚染、水資源 (単体) : P.10 大気汚染、水資源 (国内連結)
303-3	取水	海水、生産に伴う水、第三者の水、水ストレスを伴う全ての地域からの総取水量: いずれもなし	DB2023 : P.9 大気汚染、水資源 (単体) : P.10 大気汚染、水資源 (国内連結)
303-4	排水	水ストレスを伴う地域への排水: なし	SR2023 : P.27 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> 用水使用 : P.27 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> 排水処理 : P.29 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (4)環境目標と実績 DB2023 : P.2 事業活動における環境への影響: 2022年度 : P.9 大気汚染、水資源 (単体) : P.10 大気汚染、水資源 (国内連結)
303-5	水消費	—	SR2023 : P.27 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> 用水使用 DB2023 : P.2 事業活動における環境への影響: 2022年度 : P.9 大気汚染、水資源 (単体) : P.10 大気汚染、水資源 (国内連結)
304:生物多様性 2016			
304-1	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	—	—
304-2	活動、製品、サービスが生物多様性に与える着しいインパクト	—	—
304-3	生息地の保護・復元	—	—
304-4	事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	—	—
305:大気への排出 2016			
305-1	直接的なGHG排出 (スコープ1)	生物由来のCO ₂ 排出量: なし	SR2023 : P.26 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> CO ₂ 排出 : P.29 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (4)環境目標と実績 DB2023 : P.2 事業活動における環境への影響: 2022年度 : P.5 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (単体) : P.7 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (国内連結)
305-2	間接的なGHG排出 (スコープ2)	—	SR2023 : P.26 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> CO ₂ 排出 : P.29 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (4)環境目標と実績 DB2023 : P.2 事業活動における環境への影響: 2022年度 : P.5 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (単体) : P.7 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (国内連結)
305-3	その他の間接的なGHG排出 (スコープ3)	生物由来のCO ₂ 排出量: なし	DB2023 : P.6 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (単体) : P.8 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (国内連結)
305-4	温室効果ガス (GHG) 排出原単位	—	DB2023 : P.2 事業活動における環境への影響: 2022年度 : P.5 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (単体) : P.7 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (国内連結)
305-5	温室効果ガス (GHG) 排出量の削減	—	SR2023 : P.26 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> CO ₂ 排出 : P.29 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (4)環境目標と実績 DB2023 : P.5.6 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (単体) : P.7.8 エネルギー使用、CO ₂ 排出 (国内連結)
305-6	オゾン層破壊物質 (ODS) の排出量	なし	—
305-7	窒素酸化物 (NO _x)、硫黄酸化物 (SO _x)、およびその他の重大な大気排出物	—	SR2023 : P.29 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (4)環境目標と実績 DB2023 : P.2 事業活動における環境への影響: 2022年度 : P.9 大気汚染、水資源 (単体) : P.10 大気汚染、水資源 (国内連結)
306:廃棄物 2020			
306-1	廃棄物の発生と廃棄物関連の着しいインパクト	—	SR2023 : P.27 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> 廃棄物の有効利用 DB2023 : P.2 事業活動における環境への影響: 2022年度 : P.11 バリューチェーンを通じた廃棄物の発生の概要
306-2	廃棄物関連の着しいインパクトの管理	—	SR2023 : P.23 CSR方針2 環境> 推進体制・ガバナンス : P.27 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> (3)環境負荷軽減に向けた取り組み> 廃棄物の有効利用 DB2023 : P.2 事業活動における環境への影響: 2022年度 : P.11 バリューチェーンを通じた廃棄物の発生の概要 : P.12 廃棄物 (単体) : P.13 廃棄物 (国内連結)

番号	開示事項	掲載場所（SR2023、DB2023以外） 関連情報	SR2023、DB2023での掲載場所
306-3	発生した廃棄物	—	SR2023 ： P.27 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> {3}環 境負荷軽減に向けた取り組み> 廃棄物の有効利用 DB2023 ： P.2 事業活動における環境への影響；2022年度 ： P.11 バリューチェーンを通じた廃棄物の発生の概要 ： P.12 廃棄物（単体） ： P.13 廃棄物（国内連結）
306-4	処分されなかった廃棄物	—	SR2023 ： P.27 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> {3}環 境負荷軽減に向けた取り組み> 廃棄物の有効利用 DB2023 ： P.2 事業活動における環境への影響；2022年度 ： P.11 バリューチェーンを通じた廃棄物の発生の概要 ： P.12 廃棄物（単体） ： P.13 廃棄物（国内連結）
306-5	処分された廃棄物	—	SR2023 ： P.27 CSR方針2 環境> 2022年度の主な取り組み> {3}環 境負荷軽減に向けた取り組み> 廃棄物の有効利用 DB2023 ： P.2 事業活動における環境への影響；2022年度 ： P.11 バリューチェーンを通じた廃棄物の発生の概要 ： P.12 廃棄物（単体） ： P.13 廃棄物（国内連結）
308:サプライヤーの環境面のアセスメント 2016			
308-1	環境基準により選定した新規サプライヤー	—	—
308-2	サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置	—	—
401:雇用 2016			
401-1	従業員の新規雇用と離職	—	DB2023 ： P.18 採用、継続就業、離職の状況
401-2	フルタイム従業員には支給され、有期雇用の従業員やパートタイム従業員には支給されない手当	—	SR2023 ： P.38 CSR方針3 人権労働> 【安全で働きがいのある職 場づくり】> リスク・機会と戦略> 戦略> 非正規社員に対 する公正な処遇・評価
401-3	育児休暇	—	DB2023 ： P.22 育児支援
402:労使関係 2016			
402-1	事業上の変更に関する最低通知期間	転居を伴う異動にあたっては、原則として1カ月前までに 本人に通知を行っている	—
403:労働安全衛生 2018			
403-1	労働安全衛生マネジメントシステム	—	SR2023 ： P.38 CSR方針3 人権労働> 【安全で働きがいのある職 場づくり】> リスク・機会と戦略> 戦略> 労働安全衛生への 取り組み ： P.43 CSR方針4 品質安全> 推進体制・ガバナンス> 化 学物質の関連法規と当社の対応 ： P.45 CSR方針4 品質安全> 推進体制・ガバナンス> 製 品リスク評価（化学物質のリスクアセスメント）
403-2	危険性（ハザード）の特定、リスク評価、事故調査	—	SR2023 ： P.38 CSR方針3 人権労働> 【安全で働きがいのある職 場づくり】> リスク・機会と戦略> 戦略> 危険性の特定、 リスク評価、事故調査の仕組み ： P.45 CSR方針4 品質安全> 推進体制・ガバナンス> 製 品リスク評価（化学物質のリスクアセスメント）
403-3	労働衛生サービス	—	—
403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	—	SR2023 ： P.38 CSR方針3 人権労働> 【安全で働きがいのある職 場づくり】> リスク・機会と戦略> 戦略> 労働安全衛生への 取り組み ： P.39 CSR方針3 人権労働> 【安全で働きがいのある職 場づくり】> リスク・機会と戦略> 戦略> 従業員が危険性 を報告する仕組み
403-5	労働安全衛生に関する労働者研修	—	SR2023 ： P.39 CSR方針3 人権労働> 【安全で働きがいのある職 場づくり】> リスク・機会と戦略> 戦略> 従業員への安全 衛生に関する研修
403-6	労働者の健康増進	—	SR2023 ： P.40 CSR方針3 人権労働> 【安全で働きがいのある職 場づくり】> 2022年度の主な取り組み> 労働安全衛生への 取り組み
403-7	ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と軽減	—	—
403-8	労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	—	—
403-9	労働関連の傷害	—	SR2023 ： P.38 CSR方針3 人権労働> 【安全で働きがいのある職 場づくり】> リスク・機会と戦略> 戦略> 危険性の特定、 リスク評価、事故調査の仕組み DB2023 ： P.23 労働災害
403-10	労働関連の疾病・体調不良	—	DB2023 ： P.23 労働災害
404:研修と教育 2016			
404-1	従業員一人あたりの年間平均研修時間	—	DB2023 ： P.25 研修時間
404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	—	SR2023 ： P.33 CSR方針3 人権労働> 【人財育成】> リスク・機 会と戦略> 教育体系 ： P.33 CSR方針3 人権労働> 【人財育成】> 2022年度の 主な取り組み
404-3	業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	—	DB2023 ： P.25 業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受 けている従業員の割合

番号	開示事項	掲載場所 (SR2023、DB2023以外) 関連情報	SR2023、DB2023での掲載場所
405:ダイバーシティと機会均等 2016			
405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	有価証券報告書 : P.43 役員状況	DB2023 : P.16 男女別従業員数 : P.27 ガバナンス
405-2	基本給と報酬の男女比	—	DB2023 : P.21 日本国内の男女別報酬の状況
406:非差別 2016			
406-1	差別事例と実施した是正措置	—	—
407:結社の自由と団体交渉 2016			
407-1	結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	—	SR2023 : P.19 CSR方針1 調達> 2022年度の主な取り組み> サプライヤーアセスメントの実施
408:児童労働 2016			
408-1	児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	—	SR2023 : P.19 CSR方針1 調達> 2022年度の主な取り組み> サプライヤーアセスメントの実施
409:強制労働 2016			
409-1	強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	—	SR2023 : P.19 CSR方針1 調達> 2022年度の主な取り組み> サプライヤーアセスメントの実施
410:保安慣行 2016			
410-1	人権方針や手順について研修を受けた保安要員	—	—
411:先住民の権利 2016			
411-1	先住民の権利を侵害した事例	—	—
413:地域コミュニティ 2016			
413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	HP: サステナビリティ> 社会貢献活動> 春めき財団プログラム	SR2023 : P.70 CSR方針6 インノベーション> 2022年度の主な取り組み> 香料事業を通じた社会貢献活動
413-2	地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト (顕在化しているもの、潜在的なもの) を及ぼす事業所	—	—
414:サプライヤーの社会面のアセスメント 2016			
414-1	社会的基準により選定した新規サプライヤー	該当するサプライヤー: なし	—
414-2	サプライチェーンにおけるマイナスの社会的インパクトと実施した措置	—	—
415:公共政策 2016			
415-1	政治献金	実施なし	—
416:顧客の安全衛生 2016			
416-1	製品・サービスのカテゴリに対する安全衛生インパクトの評価	重要な製品およびサービスのカテゴリのうち、安全衛生インパクトの評価を改善のためにしているものの割合: 100%	SR2023 : P.42 CSR方針4 品質安全> 推進体制・ガバナンス> 原料から製品までの品質管理 : P.46 CSR方針4 品質安全> 推進体制・ガバナンス> 品質管理センター
416-2	製品・サービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	違反事例: なし	—
417:マーケティングとラベリング 2016			
417-1	製品・サービスの情報とラベリングに関する要求事項	重要な製品およびサービスのカテゴリのうち、組織が定める手順の対象であり、手順の遵守評価を行っているものの割合: 100% 食品向け製品 (日本国内向け) については、アレルギーに関する情報を製品ラベルに記載。	SR2023 : P.42 CSR方針4 品質安全> 推進体制・ガバナンス> 顧客とのコミュニケーション : P.43 CSR方針4 品質安全> 推進体制・ガバナンス> 化学物質の関連法規と当社の対応
417-2	製品・サービスの情報とラベリングに関する違反事例	違反事例: なし	—
417-3	マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	違反事例: なし	—
418:顧客プライバシー 2016			
418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	不服申立: なし	—